いなほ

稲積神社社報
第57号

令和4年　大祭号

御神像　絵画

所感

宮司　根津泰昇

――コロナ禍の昨今――

コロナが蔓延し二年が経過いたしました。昨今はオミクロン株が発生し、今年の正月過ぎてから全国的に大流行して第五波の波が押し寄せてきました。近年は私たちの生活も一変し、活動の停止、不要不急の外出等の自粛生活を余儀なくされています。このような生活環境の変遷で、仕事の形態も変わり、事業の縮小や残念ながら事業の継続を断念する決断を下すような事態にもなりました。反面、向上と捉え興隆された事業もあり、正に今年の五黄土星の事象通り変化変動の時であります。百年に一度の疫病は社会環境も人の心も傷つけております。

――山梨県神社庁長を退任し――

平成二十九年四月に就任し、早くも三期九年の任期が過ぎ三月末日をもって退任致しました。任期中には、稲積神社関係者の方々に、多大なご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。山梨県神社庁の事業では神社庁設立六十五周年事業で、甲府駅北口のよっちゃばれ広場にて開催した「神社を知ろう」の企画です。前日まで毎日のように雷雨があり、心配しておりましたが開催期間は天候にも恵まれ、大勢の入場者と各イベントが盛り上がったことが脳裏に焼き付いております。

又、神社本庁役員を二期務めさせて頂き、任期中に鶴岡八幡宮と京都の石清水八幡宮に全国の神社界の代表として例大祭に献幣使としてご奉仕出来たことは、私にとって貴重な体験をさせて頂きました。

――近年の正ノ木祭――

令和二年に発症したコロナの感染拡大、またたく間に全世界に流行が広がりました。当神社におきましても令和二年の節分祭が最後となり、その後は全ての諸祭儀が神事のみとなりました。正ノ木祭も令和元年御代替わりの記念例祭が最後となり、令和二年は神事のみで、露店の出店、神賑行事は中止となり、神輿渡御はお御魂を唐櫃へ納め巡行致しましたことは、初めての経験であり、参拝者も閑散としており寂しい例祭を体感いたしました。

令和三年は、天皇陛下御即位奉祝記念事業の大鳥居竣工を祝した例祭でしたので百人程の参列者があり、賑々しく斎行され神輿渡御は車で巡行できたことは、令和二年より少しはお祭り気分が味わえた例祭でもありました。

本年の例祭は、幾つかの遵守事項を提起すると共に、遊亀公園がリニューアルしましたので新たな環境のなかで準備を進めて参りましたが、感染拡大が広まりつつあることから非常に悩みましたが、相撲場の補修工事、北側の塀補修工事、燈籠の塗り替え工事も完了いたしましたので、予定通り遵守事項を守りながら実施する事に致しました。

伝統ある正ノ木祭でありますので、県民、市民の安泰を祈りつつ厳粛に斎行致す所存でございますので、祭典期間中にご参拝下さいますようご案内申し上げます。

山梨県神社総代会会長 甲府市総代会会長就任

小尾　武

山梨県神社総代会臨時評議会において総代会長に推薦され、お引き受けすることになりました。総代会の運営を始め何をすべきかまだまだ不安でいっぱいですが、小佐野庁長を始めとする神社庁理事の皆様、坂本副会長を始めとする総代会理事の皆様方にお支え頂きながら、職務を遂行してまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

中田前会長、中込前々会長が取り組んでこられました国旗掲揚推進活動は、各地においてその成果が見られるようになり、皆様の認識が高まってきたように思えます。また、不活動神社対策につきましても、多くの実例を重ねてきており、一つの方向性が見えてきたように感じます。私もその活動を引き継ぎながら、少しずつ実績を重ねて参りたく存じます。

さて、令和の御代になり早三年が経とうとしておりますが、新型コロナウイルス感染症がまだまだ猛威をふるい、我々神社界も多大なる影響を受けております。神社の祭典等も規模を縮小せざるをえない状況であり、このような状況が当たり前になってしまうことに憂慮しております。また、最近はウクライナ情勢等、世界の平和と秩序が崩されており、改めて「敬神生活の綱領」に書かれている内容に思いを致し、神様のご神徳をいただきながら我々は生かされているんだとの思いを強くしております。

また、本年は神宮大麻全国頒布百五十周年の節目の年でもありますので、神宮奉賛活動、神宮大麻頒布推進についても積極的に取り組まなくてはならないと思っています。

結びに、神社総代の役割は何かを改めて考えながら頑張っていきたいと思いますので、皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

塩島はる子　子等の声露店の匂ひ祭り来る　宮入りの神輿の男五月晴

これまでのいなほ大祭号に掲載された正ノ木祭の文と写真を抜粋！

第５号（平成8年）より

☆**宮司就任あいさつ**

「神社を修理し祭祀を専らにすべきこと」の基本精神を推進することが一番大事な事と信じております。その基盤を大切にして一段一段ゆっくりと積み上げてまいりたいと思います。

☆**正ノ木さんの歌碑竣工**

この歌は平成九年正ノ木祭に発表され、歌詞は五味とめ子さんが花の便りを聞き、青葉を感じる正ノ木祭の季節を心のままに作られたそうです。

第13号（平成12年）より

☆**敬神婦人会前前会長　横森満洲子**

先代の宮司とのお約束通り揃いの半被と四斗樽の御神酒を奉納し参拝者に振る舞うことができました。

第25号（平成18年）より

☆**塩島　好博**

平成二十七年第四十三号

お正月が待ち遠しい子供の心情を歌った「お正月」という童謡があるが、私が子供のころのここ太田町では「もーいーくつ寝ると正の木さん。」であった様な気がする。三月も末ともなると、太田町東部の男衆がお囃子練習を社殿で始める。「もう寝なさい。」と母にしかられても、「ピーヒャラピーヒャラ。」神社の方から聴こえて来るものだから、寝れたものではなかった。四月も半ば過ぎるころになると、植木が公園に並び始める。「もうすぐ正の木さんだ。」ワクワクした事を思い出す。

☆**宮川　洋**

平成二十九年第四十七号

私たちが子どもの頃は、町内にも沢山の子どもがいて、大人神輿と同様に、子ども神輿も盛大に行われていました。当時の子ども神輿は大きくて重く、中学生が中心に担ぎまったので、小学生だと背が足らず、ぶら下がった様になり、怒られた思い出があります。そんな思い出話も、一緒に参加したからこそ、共通の話題として盛り上がります。

近年は、町内の子どもの数は減少しましたが、回覧板でお知らせし、太田町北部、一蓮寺幼稚園などの協力もあって、子どもと付き添いの大人を合わせると、百五十人を超える皆さんにご参加をいただいています。

祭り当日の朝は、出発式から始まります。「エイ！エイ！オー！」の掛け声で気持ちを一つにすると、子ども神輿と子ども山車の出発です。

皆の目が輝きます。神輿を担ぐ肩に力が入り、山車を引っ張る綱をかわいい手が力一杯握り締めます。この時が、最もわくわくする瞬間です。

☆**土肥　新**

平成三十年第四十九号

一般的な「ゴールデンウィーク」は家族で旅行！」という概念は一切なく、「ゴールデンウィークは正ノ木祭りだ！」と毎年楽しみにしていた。

今年はどのような露天が出店しているのか。何年か前、暴力団問題で露店の数が減りとても寂しい時があった。植木の出店も少なくなった中、最近は一般の店舗の出店者が数多く存在している。気に入った露店があると、そのお店の場所を出店者に聞き、お祭り終了後もお店に通うという新しい楽しみ方も増えた。それと同時に、二十年以上前から毎年見かける露天もあり、それらは安心感を与えてくれる。

☆**大竹　裕二**

平成三十年第四十九号

「正ノ木祭り」といえば屋台です。県内外から二百店舗以上の模擬店が出店します。子どもの頃は稲積神社でお参り→公園→一蓮寺のルートでクジ・射的・輪投げをしていました。一度だけではありません。親戚が来るたび同じルートを回り屋台を楽しみました。

植木市は今も昔も変わらず有名ですが、私が学生の頃は、家具屋のキズ物市も名物の一つでした。その家具屋が親戚だったので、私も小物を売ったり家具の配達をしたりと手伝いをしました。物が売れたときの嬉しさを祭りのたびに思い出します。

☆**長潟　英規**

令和元年第五十一号

奉祝ムードが高まり当神社でも御代替わりの後の大祭と合いなり、奉祝大祭神輿渡御を計画しました。遊亀通り（魚保～菱和園）にて、神輿渡御に合わせ提灯行列・よさこい・木やり・出初め・山車・神輿二基（宮神輿・万燈神輿）と「奉祝記念パレード」を予定しております。

稲積睦会が創立して来年で三五年。昭和も遠くになりにけりではありませんが、私が会長として来年で三〇年になります。今年六四才になり人生の約半分を稲積神社の神輿渡御奉仕に携わらせて頂き、人としてのご神徳を頂く事が出来ましたことに感謝しております。

☆**藤本　浩**

令和二年第五十二号

正の木祭り実行委員長を引き受けて今年で七年目になりますが、平成二十六年一月に宮司様から実行委員長をやってもらえないかと言われ、その任に値しないとお断りしたのですが説得され、お引受けすることとなったのです。ご承知のとおり正の木祭りは長い歴史と伝統ある祭典であります。一時期は暴対法の成立により種々の問題が生じてしまい祭典の存続も懸念された時期もありました。また不良少年等による暴力事件等もありましたが、稲積神社の関係者はもとよりその外郭団体、地域住居の方々、関係機関、団体等の協力をいただきながら今年も最善の努力を傾注し正の木祭りが成功することをお誓い申し上げます。

第51号（令和元年）より

恵方参り

千塚八幡神社　会計　武井眞一

令和四年の稲積神社主催の恵方詣りは北北西の方位の長野県・佐久・上田・諏訪に行って来ました。当初は二月上旬の予定でしたがコロナ禍のために三月二十六日と二十七日になりました。天気も良く暖かな二日間でした。

初めに佐久市の鼻顔稲荷神社に参拝いたしました。町の高台にあり見晴らしも良く、日本五大稲荷の一つだそうです。次に上田の生島足島神社に正式参拝をし、神職さんより武田家ゆかりの神社である説明を受けました。武将たちが信玄公への忠誠を誓う願文が幾つか展示されており、山梨とは縁深い神社であることを感じた参拝でした。宿泊地は上山田温泉の千曲館に宿泊し、（露天風呂は鯉が泳ぐ池の横にあり情緒がある館でした。）部屋も落ち着いていて、ゆっくり休むことが出来ました。

二日目は上田市郊外の別所温泉郷にある北向観音に参拝しました。昼食は池の平ホテルでとり、食事も良く、眼下に広がる白樺湖の景色も綺麗でした。午後は諏訪湖の南に鎮座します諏訪大社上社本宮の神殿に正式参拝しました。一日目と違い少し寒い日でしたが、厳かな雰囲気でした。

その後釜飯で有名な「おぎのや」によりました。十年前に寄った時より少し寂しく時の移り変わりを感じました。長野県にも新しい道路ができて時間的に便利になりましたが、それに伴って旧道沿いの商売が厳しくなっているのだと思いました。甲府に予定通り五時に着き無事旅を終えることができました。

神道政治連盟山梨県本部幹事長に就任して

禰宜　根津佳明

去る令和四年三月二日夕刻、携帯電話に山梨県神社庁より一本の電話が入った。「スーツに着替えて来庁しろ」とのこと。内容は、「神道政治連盟山梨県本部の幹事長に任命されるかもしれないので、就任の挨拶が必要かも。」

…「まさか自分が！」名前が挙がっていることは承知していたが、その中でも一番若輩者の私が任命されることはないと高をくくり、神社で仕事をしていた矢先の出来事だった。

本当に思いがけない出来事でした。慌てふためいた自分もいましたが、任命していただいた役員の方々の期待に応えられるよう、思いを入れなおしました。

神職が政治的な活動をすることへの抵抗がある方もいらっしゃると思いますが、神職が日々の祈りを体現するためにも政治にかかわっていくことも大切だと感じています。神政協の柱である「皇室の尊厳護持」「憲法改正の実現」「教育関係の整備充実」「英霊の慰霊・顕彰」「伝統的な家族制度の環境整備」「拉致問題の早期解決」「伝統文化や国民精神に関わる重要な時局問題の解決」を見るにあたり、体現する政策であることに間違いありません。

その目標に向かい邁進することが、日本人の心の継承、日本文化の伝承につながり、子どもたちの未来が明るく照らされると信じて、精進してまいります。今後もご指導ご鞭撻を申し上げ、結びと致します。

宣言

わが日本国の現状は、内に外にまことに憂念禁じ難きものあり。よってこの際、神道の精神を以て志を同じうする者相はかり、民族の道統を基調とする国政の基礎を固め、且つその姿勢を匡さんがため、ここに神道政治連盟を創立し、次の綱領五ヶ条の実現を期する。

綱領

一、神道の精神を以て、日本国国政の基礎を確立せんことを期す。
一、神意を奉じて経済繁栄、社会公共福祉の発展をはかり、安国の建設を期す。
一、日本国固有の文化伝統を護持し、海外文化との交流を盛んにし、雄渾なる日本文化の創造的発展につとめ、もって健全なる国民教育の確立を期す。
一、世界列国との友好親善を深めると共に、時代の弊風を一洗し、自主独立の民族意識の昂揚を期す。
一、建国の精神を以て無秩序なる社会的混乱の克服を期す。

神社庁役員に就任して

権禰宜
土肥東宮

畏れ多くも令和四年三月二日、山梨県神社庁臨時協議会に於いて神社庁理事を拝命いたしました。と同時に神宮大麻都市頒布向上計画委員会の委員長という大役をも仰せつかりました。故松尾久野先生以来の女性の理事との事で、大変光栄な事なのですが、私に務まるかどうかと身のすくむ思いでおります。

深く考えずに、協議会にての拝命にお受けした自分自身に後悔の念はありますが、これは神様から授けられた自己研鑽の時と言い聞かせ取り組んでまいります。

これより先、小佐野庁長様初め理事様、神社庁職員の皆様にはご指導を頂きながら、明き清きまことを持って誠心誠意務めてまいりたいと決意しております。

お社におきましては、新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、未だ不安定な世情ですが、打ち沈む事のない穏やかな世でありますことを祈念し、ご参拝いただける皆様に心癒せるお社となりますよう、ご奉仕してまいりたいと思います。

山梨県氏子青年協議会会長就任にあたって

山梨県氏子青年協議会会長
大澤慶暢

今年度より山梨県氏子青年協議会会長を拝命することになりました。

現在県内の氏子青年会は、北口本宮富士浅間神社と稲積神社の二社しかなく、この二社で会長職を交代で行っているのが現状で、非常に寂しい県連です。

当会でも諸先輩方が県の会長を滞りなく勤め上げてきたので、私もそれに恥じない様に、私のできる範囲で御奉仕しさせていただきたいと思っております。

皆さんもご承知の通り新型コロナウイルス蔓延で、世の中の経済が不安定になったり、色々なイベントや、活動が制限や中止を求められ、ストレスの多い時代になってしまいました。これにより、上層部の全国氏子青年協議会や、県連もご多分に漏れず活動や、大会が無も出来ないのが現状です。いつまでこの状況がつづくか判りませんが早期終息を祈るばかりです。

いずれにせよ状況がどの様に変わるかわかりませんが、若輩者ではありますが任期中は出来る事を無理なく無難にこなして行きたいと思っております。また皆様方にもご協力をいただく場面があるかもしれませんが、その節には宜しくご協力をお願い致します。

最後に就任とは関係ありませんが新型コロナウイルス蔓延でお酒を悪者にされて、日本酒が売れなくなって非常に厳しい状況です。

申し訳ありませんが出来るだけ太冠の消費拡大をお願い申し上げます。

稲積睦会会長就任あいさつ

稲積睦会　会長
高山政宏

まず初めにウクライナ侵略に対しまして個人的では有りますが強い憤りを感じるとともに世界で苦しんでいる全ての皆様にお見舞い申し上げます。

さて、この度歴史ある稲積神社外郭団体、稲積睦会の会長を務めさせて頂きます高山政宏です。どうぞよろしくお願い致します。

先に稲積睦会三十年以上の歴史を築いて頂いた長潟英規顧問におかれましては大変お疲れ様でした。また有難うございました。そして学ばして頂いた伝統文化の継承、神輿文化の継承を永続し今後の睦会の発展、継続に日々邁進してまいります。

今年で三年目を迎えます世界的蔓延をしている新型コロナウイルスの影響で我々神輿関係者は全ての神輿場が中止を余儀なくされています。どの様な様式でどの様に渡御を行えば良いのか、進めていけば良いのか、未知の時代になった様に思います。その中でもどこかが口火を開き始まらなければ先にお話しした伝統文化は継承どころか前にも進んでいかないのではないでしょうか。いつかはこの疫病も無くなる時が来るのか、また変異を繰り返し人類を失くしてしまうのか、先の事は誰にも分かりませんが下ばかりは向いて居られません。お祭りは誰もが楽しみまた心許せる場ですので稲積神社の大神様、是非とも稲積神社例大祭正の木祭りが出来ます様にお願い致します。

我々睦会はお祭りがなければ会として活躍出来ません。神輿を担ぐだけでは無く沢山の露店が出てみんなの笑顔を見れることこそお祭りです。汗をかき、動き回り、五月五日に終了祭を迎えるお祭りを心待ちにしております。

最後に今まで築いて来られた先人達に感謝し挨拶に代えさせて頂きます。

年中行事 斎行

節分祭

令和４年２月３日

針供養祭

令和４年２月８日

祈年祭

令和４年２月17日

天満天神社例祭

令和４年２月25日

猿田彦社例祭

令和４年３月８日

甲子社例祭

令和４年３月12日

熊野社例祭

令和４年３月26日

令和四年 祭典予定表

5・1	月始祭	九時
5・2	献木祭	十時
5・2	前夜祭	十八時
5・3	正ノ木祭例大祭	十時
5・4	二之祭	九時
5・5	三之祭	九時
5・5	成就祭	十八時
5・15	神恩感謝祭	八時三十分
5・29	御田植祭	十一時
6・1	月始祭	十時
6・3	月次祭	八時三十分
6・15	神恩感謝祭	八時三十分
6・30	夏越大祓	十七時
7・1	月始祭	十時
7・3	月次祭	八時三十分
7・15	神恩感謝祭	十一時
7・15	瘡子社例祭	十一時三十分
8・1	月始祭	十時
8・3	月次祭	八時三十分
8・15	神恩感謝祭	八時三十分
9・1	月始祭	十時
9・3	月次祭	八時三十分
9・15	神恩感謝祭	八時三十分
9・10	崇敬会大祭予定	
10・1	月始祭	十時
10・3	月次祭	八時三十分
10・9	金比羅神社例祭	十一時
10・9	抜穂祭	十一時三十分
10・15	神恩感謝祭	八時三十分
10・23～24	伊勢講 神宮	
11・1	月始祭	十時
11・3	月次祭	八時三十分
11・15	神恩感謝祭	八時三十分
11・23	新嘗祭	八時
12・1	月始祭	十時
12・3	月次祭	八時三十分
12・15	神恩感謝祭	八時三十分
12・31	年越大祓	十六時

安産祈願の歩み

安産祈願は神様に参詣し懐妊の報告と無事出産を祈願する行事です。

戌の日が選ばれるのは犬が安産であったため犬にあやかって戌の日に祈願するようになりました。近年はご都合の良い日を吉日と定めお参りなさる方も多くなりました。

令和4年　戌（いぬ）の日カレンダー

5月	9日（月）赤口	21日（土）赤口	
6月	2日（木）友引	14日（火）友引	26日（日）友引
7月	8日（金）先負	20日（水）先負	
8月	1日（月）仏滅	13日（土）仏滅	25日（木）仏滅
9月	6日（火）赤口	18日（日）赤口	30日（金）先勝
10月	12日（水）先勝	24日（月）先勝	
11月	5日（土）先負	17日（木）先負	29日（火）仏滅
12月	11日（日）仏滅	23日（金）赤口	

稲積神社甲府伊勢講　千社詣のご案内

伊勢神宮に関わる社の御朱印を頂く新穀感謝祭参列の参拝旅行が令和三年に第一回が実施されました。第一回はコロナ禍の世相の為に、募集ができず世話人を中心に神社関係者二十二名での参拝となりました。

御朱印を受けられる社は、皇大神宮（内宮）・豊受大神宮（外宮）と内宮の別宮である月讀宮・瀧原宮・伊雑宮・倭姫宮、又外宮の別宮の月夜見宮の七社であります。

第一回は秋雨のなか月讀宮に参拝いたしました。本年の第二回は、内宮参拝、外宮でのお神楽奉納、月夜見宮のご朱印を受ける参拝です。

この御朱印を集める参拝の旅にご参加いただき神宮をより深く知ると共に信仰の根幹を味わっていただけたらと思っております。

一、日程　令和四年十月二十三日（日）
　　・二十四日（月）
一、会費　三七、〇〇〇円

表紙説明

奉納者
八王子在住の画家
香徳様

香徳様とのご縁は、香徳様が心に悩みある時、当社に参拝する機会を得、参拝後には心に清々しさを感じ悩みも解消され、その後幾度かお参りするうちに画家として何かを奉納したいとのお申し出がありました。

その頃当社でも「かぎくわえむかいきつね」を象徴するものを探しておりましたので、当社に古来より伝わる絵馬を拝見していただき今度の作品となり、御祭神「宇迦之御魂大神」が「神縁結び」「子宝結び」の御神徳を授ける「かぎくわえむかいきつね」を伴っている御神画となりました。この御神画は拝殿東側に設置されております。

二十四節気について

立夏　五月五日

ゴールデン・ウィークの終わりにあたる頃である。春ようやくあせて、山野に新緑が目立ち始め、風もさわやかになって、いよいよ夏の気配が感じられてくる。蛙が鳴き始め、みみずが這い出て、竹の子が生えてくる。だが暦や歳時記の上では立夏といっても、気象的にはいまだ春といった感が強い。「夏立つ」「夏来る」などとともに夏の代表的な季語になっている。

夏至　六月二十一日

太陽が黄経九〇度の点を通過するときをいう。太陽は赤道から最も北に離れ（赤緯二三度半）、北半球では南中の高度が最も高くなる。この日、北半球では昼が最も長くなり、反対に夜が最も短くなる。

夏至は夏季の真ん中にあたり、梅雨の真っ盛りで、しとしとと長雨が続く。農家は田植えに繁忙を極める季節である。しょうぶが咲き始めてきます。

神社の豆知識

清め塩について

お清めに塩を用いることは日本の宗教的習俗であり、海水を意味する「潮」とも通じて様々な風習があります。記紀神話では、黄泉国から戻ったイザナギノミコトが体についたケガレを祓うため、海水で禊祓を行ったことが記されています。このことから、海水を沸かした「塩湯」が病気治療や無病息災の為に用いられるといった風習に繋がりました。

神社のお祭りにおけるお祓いでは塩水が用いられます。葬儀の際に塩が用いられるのもこうした信仰に基づき、非日常と日常とを分けるお清めの好意を象徴的に行ったものと言えます。